

えべおつ商工会報



2023.11.13
発行・秋号

<https://ebeotsu.jp>

江部乙商工会

〒079-0462 滝川市江部乙町西12丁目1番15号

TEL 0125-75-2529/FAX 0125-75-6332/E-mail ebeotsu@rose.ocn.ne.jp

とつても え〜べ〜！オツなくらし

困ったなァ〜と思ったら……まずあなたのための商工会へ！

江部乙夏の一大イベントが完全復活！

4年ぶりの通常開催で夏のひとときを楽しみました！



江部乙の夏を盛り上げる一大イベント「第33回カヤギニまつり」が7月22日（土）、農村環境改善センター駐車場において盛大に開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染防止のため席数減や利用時間制限などの対策を行っての開催でしたが、今年は4年ぶりに何の制限を行わない形での開催となり、好天に恵まれた当日は会場を訪れた約1,800人のお客様が夏のひとときを楽しんでいました。

ステージでは、江部乙屯田太鼓保存会や江部乙小学校のヨサコイ、滝川バトントワリングクラブ、レイアロハフラスタジオ砂川支部、輪来UC空知、ヤミロマのパフォーマ



ンスのほか、自衛隊滝川駐屯地のマスコットキャラクター「シン少尉」も登場して子どもたちとのじゃんけんゲームを楽しんだほか、まつり最後の花火大会をはさんで行われた豪華景品が当たる大抽選会では当たり番号が出るたびに歓声が上がり会場は大いに盛り上がりました。

飲み物の提供が追いつかない時間帯があり、お客様には大変ご迷惑をおかけしましたが、来年はビールサーバー増設など、よりお楽しみいただけるよう改善してまいりますのでご期待ください！



カヤギニまつり協賛のお礼

第33回カヤギニまつり開催にあたりご協賛いただいた多くの個人、事業所の皆様へ改めてお礼申し上げます。

貯蓄共済・会員福祉共済加入のお礼とお願い！

今年度、当商工会が共済事業重点推進商工会（全道5商工会）に選定されたことから、役員の皆様を中心に加入のお願いをさせていただき、おかげ様で貯蓄共済に関して早期達成目標をクリアすることができました。本共済事業は会員企業が事業を継続するための経営支援、課題解決の手段のひとつとなるものですので、会員の皆様においてはぜひ加入の検討をお願いします。担当職員が説明に伺いますのでご一報ください。

江部乙商工会館改修に係る寄付のお礼

この度は当商工会館の改修工事へのご寄付を賜りありがとうございます。皆様からお寄せいただいたご厚意は、屋上防水工事等の改修費用に活用させていただきます。

会員増強運動実施中！

商工会を安定的に運営するためには会員の増強が欠かせません。

お取引先やお知り合いの方で入会希望の方、未加入の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

会員の脱退をお知らせします

次の事業所が廃業により脱退されたのでお知らせします。

脱退事業所名 Project・k合同会社

令和5年7月31日脱退（廃業）

商 工会活動から

乙なカレッジ「まちづくり学部講演会」が開催されました！

8月21日（月）、農村環境改善センターにおいて、乙なカレッジまちづくり講演会「観光ビジネスにおける江部乙の将来像2」が行われました。

講師は昨年に引き続き観光ビジネス総研(株)の代表取締役の刀根浩志さん。今回のテーマは「交流人口拡大と観光地経営のすすめ」。江部乙が持つ「財産」で何ができるのか、刀根氏の熱い講演に約50人の参加者たちが熱心に耳を傾けていました。



税務研修会

令和5年分青色申告決算について

早いもので令和5年もあと1か月余りとなりました。いつもの年末調整、決算、確定申告の時期がやって来るのを前に税務研修会を開催します。ご多忙な時期ですが、事業主、専従者、記帳を担当されている方のご参加をお待ちしています。今年は例年の青色申告決算の注意点に加え、インボイス制度導入に伴う税制改正等についての説明も行います。お申し込みは商工会事務局まで。

日時 12月4日（月） 午後1時30分から
場所 江部乙商工会館 2階 会議室
講師 滝川税務署 個人課税部門
中岡上席国税調査官
参加料 無料

地域住民説明会

江部乙が宇宙に近づく日～Day0(ゼロ)～

新聞報道等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨年3月で閉校した江部乙中学校跡地を、小型人工衛星向けエンジンの開発を行う北大発スタートアップ企業「Letara」が利用することが決まりました。江部乙地域活性化の期待が高まる今回の企業進出ですが、下記日程で同社による住民説明会が行われますのでぜひご参加ください。

旧江部乙中学校跡地利用に係る地域住民説明会
日時 11月21日（火） 午後6時30分から
場所 滝川市農村環境改善センター 2階
参加料 無料
問い合わせ先 28-8008（滝川市総務部財政課）

みんなでチェック！最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人)及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されています。

時間額 960 円 効力発生效年月日 令和5年10月1日

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。
- 最低賃金以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料・乳製品・糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く方には、北海道の特定(産業別)最低賃金が適用されます。

2024年(令和6年)4月から建設業、トラック・バス・タクシードライバー、医師の「働き方改革」を進めるため、**時間外労働の上限規制**が適用となります。建設業、運送業及び病院等の中小企業事業主で、労働時間の縮減等に取り組む皆様を支援する「働き方改革推進支援助成金 適用猶予業種等対応コース」をご活用ください。 ※ホームページ「はたらき方ススメ」「適用猶予コース」を参照ください。

最低賃金制



【お問い合わせ先】 厚生労働省北海道労働局労働基準部賃金室 011-709-2311(内線3533)
滝川労働基準監督署 0125-24-7361

乙なNEWS

乙ゼミ・フィールドワークが行われました！



江部乙の魅力を見直し、観光ビジネスへ繋げる可能性を考える「乙ゼミ」が改善センターを飛び出し、初のフィールドワークを行いました。マイクロバスに乗車した16名が最初に向かったのは、ドラマ「ファーストラブ」ロケ地。その後、えべおつWeinの圃場・ワイナリー建設現場、ギャラリー&ガーデンコンチェルト、丸加高原展望台、りんご室などを見学しました。参加者はグループワーク出されたキーワードを実際に巡って一層想像を膨らませていました。

「乙カレ祭」が盛大に開催されました！

11月4日（土）、農村環境改善センターにおいて、えべおつ市民大学・乙なカレッジ主催の「乙カレ祭2023」が開催されました。

2回目の開催となる今回は、約180人の来場者が、江部乙屯田太鼓保存会の演奏をはじめ、合唱や楽器演奏、朗読、太極拳など多彩なステージを楽しんだほか、手作り作品の展示・販売や体験コーナー、出張駅カフェや乙なうどん・そばのバザーなどで秋の一日を過ごしていました。



そらぷち農産品ボックスの箱詰め作業を行いました！



そらぷちキッズキャンプを支援する地元農家有志のグループ「そらぷちファーマーズ」と江部乙商工会、そらぷちキッズキャンプが11月9日（木）、「そらぷち農産品ボックス2023」の箱詰め作業を行いました。

地元農家有志が丹精込めて育てた米やじゃがいも、玉ねぎ、りんごなどの農産品が約180個のボックスに詰められ、全国各地へ送られました。売り上げの一部がそらぷちキッズキャンプの運営に役立てられます。

広げよう つなげよう 笑顔の輪 マル経の輪

50th

～ともに歩んで、マル経50周年～
これからも、商工会連合・商工会のみならずともに、
小規模事業者の経営改善を応援してまいります

無担保
無保証人

ご融資額
2,000万円
以内

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）

小規模事業者経営改善資金 （マル経融資）

ご返済期

設備融資/10年以内（うち据置期間2年以内）
運転資金/7年以内（うち据置期間1年以内）

ご利用いただける方

商工会議所、商工会または都道府県商工会連合会の長の推薦を受けた小規模事業者の方

詳しくは、当商工会または日本政策金融公庫の最寄りの支店に、お気軽にご相談ください。

小規模事業者を支えて半世紀
小規模事業者経営改善資金

マル経

事業資金相談ダイヤル

JFC 日本政策金融公庫 0120-154-505（平日9時～17時）

会員インタビュー⑦

Company&keyperson

ワイナリー建設で新たな一歩を！

今年、念願だったワイナリーを完成させ、本格的に自社でのワイン醸造に踏み出した高橋社長にワインづくりへの思いなどを伺いました。



株式会社 えべおつWein

たかはし こうすけ

代表取締役 高橋 孝輔

PROFILE

1987年(S62)東京都生まれの36歳。
2017年(H29)えべおつWein創業。
2021年(R3)8月に法人化し、醸造用ぶどう栽培とワイン販売を手がける。今年、目標としていたワイナリーが完成。ぶどう栽培からワイン醸造まですべての行程を自社で行い、2025年(R7)の出荷を目指す。

ーワインづくりに携わる前は？

高橋：農業に携わるようになったのが2015年の頃からなので、それより前は一切農業と関わりのない生活を送っていたんです。学校も就職した会社も農業とは全く関係ないところでした。東京で仕事をしていた頃は農業をやりたいという漠然とした思いはあったんですが、ぶどうをやりたいというイメージは湧いていませんでした。こちらへ移住してから滝川市内で全く違う仕事に就いていたんです。

ーご出身は東京とのことですがなぜ江部乙に？

高橋：両親が先に江部乙に移住していたからです。父は老後は北海道で暮らしたいとの思いがあって、いろいろと北海道内を回って検討したそうです。母が菜の花畑に関心を持ったことと、当時の滝川市の移住促進の対応がよかったのが決め手だったと話していました。

ーぶどう栽培、ワインづくりをやると思ったきっかけは？

高橋：当時北海道はいろいろなところでぶどう畑が増えていた時期だったんです。父も最初は農業をやろうと思って移住してきたわけではないんですが、地域振興の活動をしている中で、この地域にも新しい産業がほしいという思いと、あったかくなってきてこの地域もぶどう栽培の適地になって来たという背景もあって最初は父の方から話がありました。こういうことをやらないかと…。私も農業をやりたいという思いもありましたし、父は年齢的に新たに農業者になるのは難しい状況だったので私が2年間余市町へ行ってぶどう裁



培、ワイン醸造の研修を受けて江部乙に戻り、2017年から新規就農して今に至っています。

ーワイナリー建設が夢？

高橋：私たちはもちろんワインは好きですが、あくまでも地域振興の一環としてスタートしたんです。研修先の余市での就農も考えたんですが最初からこちらでという計画でしたので、こうして江部乙で始めました。ワイナリー建設ももちろん最初からの目標です。何年かはワインづくりの経験はありますが、やはり自分でスタートするとすると難しさを感じていますが、本当に今年が新たなスタートです。

ーえべおつWeinの特徴は？

高橋：ここでは植えているぶどうは7種類。涼しい気候で寒冷地向けの品種を育てると酸味がしっかりしたぶどうが採れますし、寒暖差で糖度も上がります。まずは品質のいいぶどうを作って、いいワインになってくれればと願って今までやって来ました。私たちも勉強しながらこれからのワインのスタイルを模索していきたいですね。

ー今後の展望は？

高橋：まだ知名度は低いですが、首都圏や関西のレストランからも引き合いがあります。今はまだ生産量が少なく行き渡っていない状態ですがこれからぶどうも増やしていく計画ですので、販路を広げながら需要に応えられるくらいの供給をしていきたいと考えています。やる以上はもっと知識や技術を磨いて、高品質なワインを作りたいと思っています。

司法書士による無料相談会

1月10日(水) 13:00～15:00

～隔月(奇数月)の第3水曜日(要予約)～

会場 江部乙商工会館
講師 木村幸一(司法書士・行政書士)
内容 登記、少額訴訟、会社設立、相続その他

編集後記



10月初旬、えべおつWeinさんと醸造用ぶどうの収穫初体験。今回収穫したぶどうが販売されるのは2025年とか。わずかでも自分が収穫したぶどうがワインになるなんてワクワクです。指折り数えて待つことにしましょう。

事務局長 森 昌之